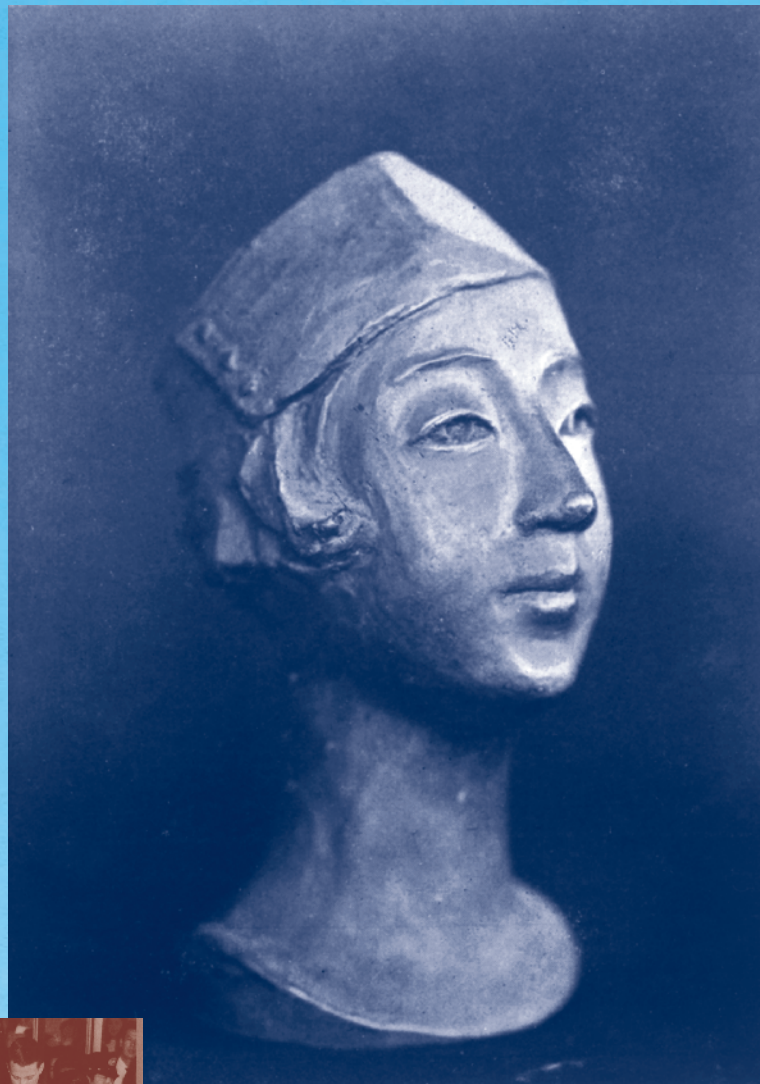


日本の精神障害者は、戦後の民主主義憲法下においてもなお、
世界に類を見ない長期入院を強いられ、
差別の目にさらされてきた。

「此邦ニ生レタルノ不幸」(呉秀三・一九二八)から百年……
精神障害者をめぐる病院・医師・家族
そして当事者の言説をたどり、
戦後日本社会の人権のありようを問う資料集成、
戦前編につづき、待望の刊行！ 2018年6月より予約開始



塑像「健康」 松沢病院の患者作、1939年(『救国会々報』58号より)



ライシャワ事件(1964年)

●推薦
市野川容孝(東京大学教授)
内田博文(九州大学名誉教授)
大熊一夫(ジャーナリスト)
原田憲一(元東京大学教授)
松原洋子(立命館大学教授)
向谷地生良(北海道医療大学教授)

戦後編 全12巻 精神障害者問題資料集成

編・解説 ● 岡田靖雄

編集復刻版

ライシャワ事件・島田事件・家族会・ロボトミー手術・宇都宮病院事件・電気痙攣療法・四肢拘束・
虐待・薬物療法・成年後見制度・運転免許・患者会運動・セルフヘルプ活動・市民運動

近現代史・国家・人権・優生思想・生命倫理・生殖医療・差別……
「精神障害者」の問題を通して戦後の日本社会を問う！

精神障害者問題資料集成 戦後編 全12巻

編集復刻版

A4判・上製・総約4、500ページ
揃定価＝300、000円＋税

ISBN978-4-86617-059-6

二〇一八年九月刊行！

- 編・解説 岡田靖雄(各巻に解説)
- 解説 橋本明(愛知県立大学教授)
- 野田正彰(精神科医・作家)
- 富田三樹生(多摩おおば病院院長)
- 山下剛利(元徳島大学精神科)
- 寺澤暢紘(島田事件対策協議会)
- 江端一起(前進友の会)



松沢病院 旧病棟

●全巻の構成

- 第1巻 精神衛生法とライシャワ事件Ⅰ《解説＝橋本明》
- 第2巻 精神衛生法とライシャワ事件Ⅱ／沖縄《解説＝橋本明》
- 第3巻～第5巻 精神科医の運動Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ《解説＝野田正彰》
- 第6巻 家族会
- 第7巻 大学闘争／「金沢学会」／市民運動《解説＝富田三樹生・山下剛利》
- 第8巻 宇都宮病院事件など
- 第9巻 ロボトミー・暴行・冤罪事件Ⅰ《解説＝寺澤暢紘》
- 第10巻 患者会運動《解説＝江端一起》
- 第11巻・第12巻 ロボトミー・暴行・冤罪事件Ⅱ・Ⅲ

六花出版 ㊟101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-28 電話 03-3293-8787 FAX 03-3293-8788 <http://rikka-press.jp>

*表示価格はすべて税別。

書店では取り扱っておりません。下記へお申し込みください〈専売〉

■お問い合わせ・お申し込み

小学館グループ (株)総合教育センター 神戸支店

〒650-0004 神戸市中央区中山手通 3-4-8 大東ビル 6F
電話 078-332-5302(代) FAX 078-332-6188

0120-435-288

E-mail sokyo-kobe@mw.0038.net

本社 〒113-0033 東京都文京区本郷 5-33-10 いちご本郷ビル 6F
電話 03-5844-3041 FAX 03-5844-3048
<http://www.sokyo.jp/>

六花出版

「精神病患者監護法」(1900年公布)から118年。
戦前から戦後、現在までつづく精神病患者への
施策と問題。

内容
本

精神衛生法をめぐる諸問題

1. 相馬事件……………岡田靖雄(松沢病院)…3

2. 精神病患者監護法から精神衛生法まで…吉岡真二(松沢病院)…8

3. ライシャワー事件をめぐる…岡田靖雄(松沢病院)…35

目次

我邦十何万ノ精神病患者ハ実ニ此病ヲ受ケタルノ
不幸ノ外ニ、此邦ニ生レタルノ不幸ヲ重ヌルモ
ノト云フベシ。

一 吳 秀 三 (1918)

【精神衛生法をめぐる諸問題】
(1964・第1巻所収)より
表紙

吳秀三の言葉

患者の立場から
精神医療の変革をめざす
精神科医の運動

わが国精神衛生の現状並びに
問題について

はしがき

厚生省公衆衛生局

「わが国精神衛生の現状並びに問題について」(1951・第1巻所収)より

1969.3.20 №33

精神科連合ニュース

= 全国大学精神神経科連合 =

目次

「報告医」制度について各医局、各団体で討論を……………事務局 2

特集「医学部改革と精神科の動向」……………3

北大における動き……………伊藤耕三 4

信大精神科教室最近の動き……………斎藤正武 5

名大における医学部民主化の動き……………小林安 7

「青年医師連合精神神経科関西ブロック会議」設立経過……………同事務局 10

付、結成宣言文……………

阪大医学部の現況……………金沢彰 12

和歌山県立医科大学付属病院精神神経科医局解散宣言……………14

岡大精神科の新しい組織作り……………横山茂生 16

九大精神科の最近の動向……………牛島定信 17

保安処分制度その後……………編集部 21

沖縄の精神医療の状況について

われわれも、なすべきことをなして来たか……………藤沢敏雄 23

沖縄での体験から……………高柳功 30

第5回関東ブロック会議報告……………32

学術会議選挙結果及び日本精神神経学会評議員選挙結果……………34

評議員候補者アンケート追加……………35

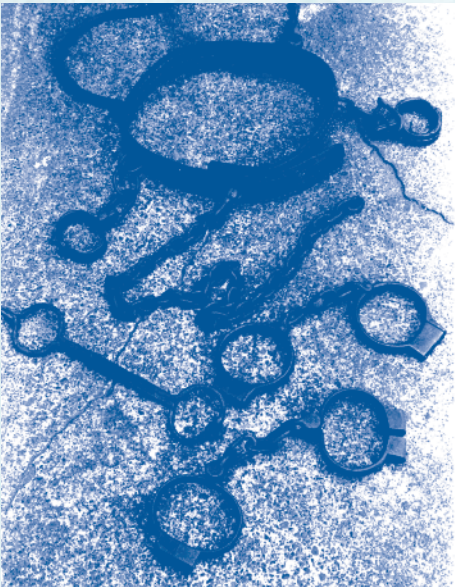
新規加入者名……………36

編集後記……………37

『精神科連合ニュース』№33(1969・第4巻所収)より

「戦後編」刊行にあたって

青柿舎 岡田靖雄



拘束具(上)／松沢病院旧病棟(下)

『精神障害者問題資料集成(戦前編)』全一二巻は好評をもってむかえられたようである。戦後はすでに七三年になる。その六二年をわたしは改革を目ざす精神科医として生きてきた。その間にあまりに多くの出来事があった。自分がかかわってきた事の資料もおおい。自分からはなれた所でも多くの事がおこっている。「戦後編」をまとめようという気にはなかなか耐えられずにいた。「やるのはあんたじゃないじゃないか」と何人かにはげまされて、作業にとりかかってみると、運動体であるためか、資料や会報をちゃんと保存している団体がすくないことにおどろいた。それだけに、青柿舎にあつめていたものがずいぶん役だつことになった。やはり、今やってよかったのだ。

精神衛生法制定、精神科病床激増、島田事件、ライシャワ大使刺傷事件、つづく法改悪の動き、大学闘争、精神科医・家族・当事者の運動、金沢での日本精神神経学会総会、刑法改正問題などなど、とりあげるべき問題はおおい。過去のそれらの検討は、今後の方向に示唆をあたえるものである。

しかし、巻数がかぎられているので、あつめた資料の全部を掲載することはできない。会報などはその初期のものにかぎることにした。本『精神障害者問題資料集成(戦後編)』は戦後史の見取り図を提供するまでのことはできない。多くの出来事・運動の入り口案内といえればよい、こういった資料をきっちりあつめ整理保存するような施設がほしいという思いは切である。

年	事項
一八七五	京都に最初の公立病院設立
一九〇〇	精神病患者監護法公布
一九一八	吳秀三「精神病患者私宅監置ノ実況及び其統計的觀察」発表。このなかで日本の精神病患者には病氣であるほかに「此邦ニ生レタルノ不幸」があると述べる
一九一九	精神病院法公布
一九四〇	国民優生法公布
一九五〇	精神衛生法公布。私宅監置が廃止
一九五四	医師台弘によるロボトミー人体実験
一九六四	島田事件(知的障害のある容疑者への冤罪事件)
一九六五	ライシャワ事件(精神障害者によるアメリカ駐日大使刺傷)
一九六五	精神衛生法改悪の動き
一九六五	精神衛生法改正
一九六九	全国精神障害者家族会連合会設立
一九六九	赤レンガ闘争(東大精医連による精神病棟占拠事件)
一九七四	第1回全国精神障害者交流集会。全国「精神病」者集団が結成
一九七五	日本精神神経学会、ロボトミー手術の廃止を宣言
一九七九	ロボトミー殺人事件(ロボトミー手術を強制された被害者が手術した医師の関係者を殺害)
一九八三	宇都宮病院事件(看護職員による患者殺人)
一九八四	べてるの家発足
一九八八	精神保健法
一九九三	全国精神障害者団体連合会発足
一九九五	精神保健福祉法
二〇〇三	心神喪失者医療観察法
二〇〇六	新しい精神障害者家族会の組織、全国精神保健福祉会連合会設立
二〇一六	津久井やまゆり園事件

関連年表

推薦
します
五十音順

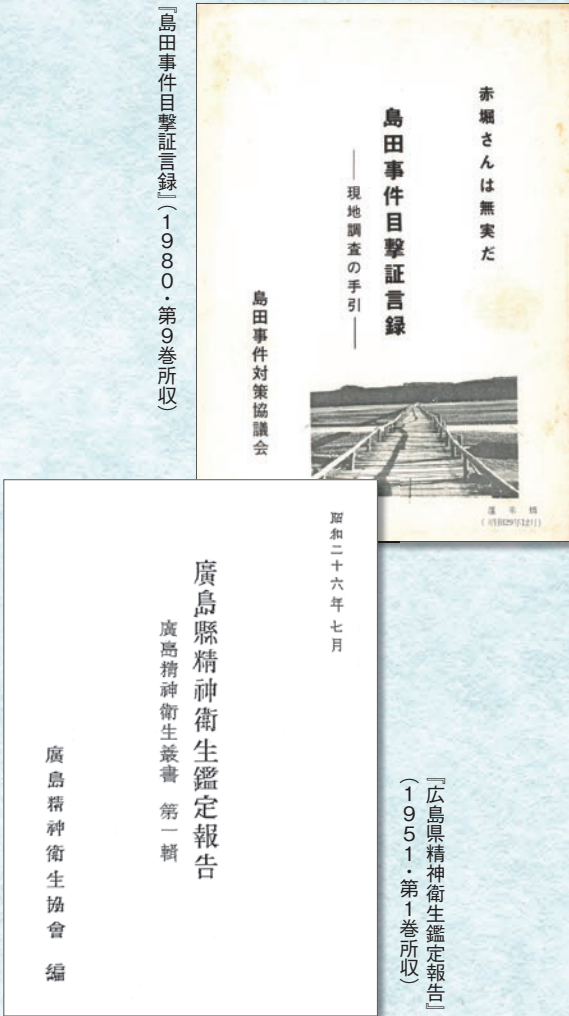
患者の視点から精神医療の 変革を求めたひとびとの軌跡

市野川容孝（東京大学教授）

過去に出版された、今では入手が困難か不可能な古い書物を集めて資料集成を編むということはあり、それはそれで、とても貴重だし、私も大いに活用させてもらっているが、本資料集成はそれとは違う。各運動団体が手作りし、人びとに配ったニュースや便り、あるいはビラに相当するものが、本資料集成の基体をなす。ここに収められたドキュメントの中には、一九八〇年代から九〇年代、私が集会等の場で、直接、手にとって読んだもの、あるいは事務所や部屋の片隅で、綴じられたファイルの形で読んだものがあるが、それらはもう私の手元にはないし、廃棄されたものも少なくないだろう。私以外の人にとっても、おそらくそういう運命をたどりがちだったニュースであり、便りであり、ビラだったと思う。この世から消えてなくなったかもしれないこれらのドキュメントが、こうして資料としてまとめられ、再び入手可能となったことに、まず深く感謝したい。

ここに収められたいくつかの資料を通して人は、日本の精神医療を患者の視点から変革しようとした患者当事者とその側に立とうとした医療関係者の、その生身の姿を見てとり、その肉声を聞きとることができるはずだ。当時のことをまったく知らない新しい世代の人たち、また遠い将来にこの時期の日本の精神医療を歴史として書いたり、調べたりする人たちにとっても、貴重な資料となるはずである。

（いちのかわ・やすたか）



これは読ませる 墓碑銘だ

大熊一夫（『ルポ・精神病棟』著者、ジャーナリスト）

僕は一九七〇年に都内の私立精神病院に潜入入院して『ルポ・精神病棟』を書いた。それが「朝日キャンペーン」と言われて本書にも出てくるのだが、しかし正直申せば、僕も朝日新聞社も精神病院には全くの無知だった。だから、記事を書く直前から泥縄式に勉強を始めて、やっと大社会問題だ！と気が付いた。さらに、精神病院という鬱陶しい監獄型治療装置に頼らずとも精神疾患を支えることができるのだ、と気が付くには、結局一五年以上もかかった。

さて、「精神病院不要論者」になった僕からみたこの超巨大資料。長大なドキュメントあり、精神保健革命ごっここの号砲あり、何を言いたいのかわからない言葉のサラダダあり、現代でも色褪せない至極真つ当な論説あり、……でも、いまの精神病院三〇万床の恥ずべき惨状を思うと、これらは日本の心病める人々の墓碑銘だなあ、という感じを否定できない。

しかし、読み始めたらずまりませんよ、これは。

（おおくま・かずお）

公共図書館、社会学系や精神保健関係の 大学図書室などに不可欠の重要資料集

原田憲一（元東京大学教授）

「精神障害者問題資料集成 戦後編」の目録を手にして目を見はった。中でも、私自身がその渦中にいた事柄、「医局連合ニュース」、「東大精神科医師連合ニュース」、「東大精神医学教室ニュース」が眼にとびこんだ。当時私はこれらの渦の中で、時には私自身が主体的に、あるいは受動的にこれらの動きに巻き込まれていた。

しかも、これらの資料を私は当時もそしてその後も充分読んでいなかった——。私の不徹底さ、未熟さの所為だが、現場で毎日毎日新しい事態に苦慮、奔走していた者にとっては、これらの文章化されたものは現実から少し隔たった物件だった。今、そのことを苦く反省し、且つ自分の不明を思い知らされている。

そんな私個人の感懐とは全く無縁に、この資料集は戦後の我が国の精神医療、精神保健分野、精神医学が関係する人権問題などを広汎かつ綿密に網羅している。現在を点検し、そして未来に向けて正しく歩んでいくために、我が国のこの領域における不可欠の一里塚になることは疑いない。岡田靖雄氏でなくてはできない偉大な業績である。

（はらだ・けんいち）

精神医療と精神障害者問題に かかわるすべての人に必読の書

内田博文（九州大学名誉教授）

ハンセン病の場合、強制隔離政策の放棄は国際社会の勧告から四〇年近くも遅れた。このまま小手先の「その場しのぎ」を続け、必要な手当てを先送りし続けた場合、日本の精神科医療の国際化は何年かかっても達成できない。社会防衛を内包する「不純な精神科医療」という汚名も払拭し得ない。二二世紀に入って早や一五年以上。「やっかいな傑出ぶり」から「世界の孤児」になったと揶揄される日本の精神科医療をどのようにして改革し、内外との異次元の格差を埋めていくのか。短期的には難しい、長期にわたる可能性が強いというのであれば、短期、中期、長期の目標を設定して、そこに至るロードマップを早急に策定することが求められるよう。

改革は過去と現在の正確な分析に基づくものでなければならない。抜本的な改革になればなるほど、それが必要になる。改革の動きがどのようにして形成され、阻む動きとの間でどのような対抗軸が形成されたのか。その対抗軸はどのように変遷してきているのか。これらを知ることが必須不可欠になる。

そのための第一級の資料を私たちはこの度、得ることができた。本『精神障害者問題資料集成』戦後編全一二巻がそれである。戦後の日本の精神科医療史と精神障害者問題の核心を紐解く上で重要な「精神衛生法とライシャワ事件／沖縄」「精神科医の運動」「家族会」「大学闘争／「金沢学会」／市民運動」「宇都宮病院事件など」「ロボトミー・暴行・冤罪事件」「患者会運動」についての原資料が収録されているからである。精神科医療と精神障害者問題に関わる当事者、そして、それを考え、行動し、報道する人々にとって必読の書といえる。

（うちだ・ひろふみ）

精神医療史を 検証するために

松原洋子（立命館大学教授）

第二次世界大戦で大敗を喫し、崩壊した大日本帝国。戦後七〇年を経た現在、日米軍事同盟のもとでの日本の復興とは何だったのか、様々な角度から検証されている。精神医療史もまた、俎上に載せられるべきだろう。

精神衛生法はGHQ占領下の一九五〇年に制定され、優生保護法と連動して精神障害者の不妊手術を政策的に推し進めた。また、激しい論議を呼び、その後の政治運動の発火点となった一九六五年の精神衛生法改正は、ライシャワ駐日米国大使刺傷事件を契機としている。戦後日本の精神医療は、政治運動の激しい波に洗われてきた。この波は、冷戦体制下の日本の地政学的位置と無縁ではない。

『精神障害者問題資料集成』戦後編の編者である岡田靖雄氏は、日本を代表する精神医学史家であり、かつ当時の運動に立ち会ったキーパーソンのひとりでもある。本資料集成は、現場の動向を生々しく伝えるビラやニューズレターを含む貴重な一次資料を収めている。精神医療とそのもとの患者運動・障害者運動を通して、日本の戦後を知り現在の立ち位置を考えるうえで不可欠の資料集である。

（まつばら・ようこ）

第1巻 精神衛生法とライシヤワ事件Ⅰ

解説Ⅱ岡田靖雄 橋本明

- 広島県精神衛生鑑定報告●広島精神衛生協会●一九五・七
わが国精神衛生の現状並びに問題について(週刊医学通信第6
年第22号)●厚生省公衆衛生局●一九五・八
精神衛生鑑定基準(案)●一九五・九
岩井の滝「見聞記」●佐藤孝三●一九六・三
昭和38年精神衛生実態調査●厚生省公衆衛生局長●一九六四・三
連絡ニュース●第1号●精神衛生法改正問題対策協議会●一九六四・五
連絡ニュース●第2号●精神衛生法改正対策委員会●一九六四・五
全面改正のために●第3号●精神衛生法改正対策委員会●一九六四・五
全面改正のために●第4号●精神衛生法改正対策委員会事務局
●一九六四・七
答申書(等)●精神衛生審議会●一九六四・七
全面改正のために●第5号●精神衛生法改正対策委員会事務局
●一九六四・八
全面改正のために●第6号●精神衛生法改正対策委員会事務局
●一九六四・二
全面改正のために●第7号●精神衛生法改正対策委員会事務局
●一九六五・二
全面改正のために●第8号●精神衛生法改正対策委員会事務局
●一九六五・七
精神衛生法をめぐる諸問題●松沢病院医局病院問題研究会
●一九六四・八
精神衛生審議会の精神衛生法改正についての答申を批判
する●東京精神病院協会●一九六四
政府の精神衛生法の一部を改正する法律案についての意見
●東京精神病院協会●一九六四
精神障害者通院医療の取扱要領●一九六五・六

第2巻 精神衛生法とライシヤワ事件Ⅱ／沖縄

解説Ⅱ岡田靖雄 橋本明

- 6・5 83精神衛生実態調査阻止 全国共闘会議結成集会
基調及び資料●83精神衛生実態調査阻止全国共闘会議●一九八三・六
精神衛生法撤廃連ニュース●第3号●精神衛生法撤廃全国連絡会議
●一九八七・五
精神衛生法撤廃連ニュース●第4号●精神衛生法撤廃全国連絡会議
●一九八七・六
声明・精神保健法案を弾劾する●精神衛生法撤廃全国連絡会議
●一九八七・六
これで「宇都宮病院」はなくなるか!?全国集会
●7・18実行委●一九八七・六

「学会認定医制度についてのアンケート依頼」

●全国大学精神神経科連合●一九八・六

「学会認定医制度についての、各大学病院医局向けアンケ
ート依頼」

●全国大学精神神経科連合●一九八・六

「精神神経科連合加入の勧め(病院向け)」

●全国大学精神神経科連合●一九八・六

- 全国大学精神々経科連合会則●全国大学精神神経科連合●一九八・六
精神科連合ニュース●No.30●全国大学精神神経科連合●一九八・七
精神科連合ニュース●No.30別冊 精神神経学会認定医についてのア
ンケート●全国大学精神神経科連合事務局●一九八・七

- パート給料68年秋しらべ●全国大学精神神経科連合●一九八・二〇
精神科連合ニュース●No.31●全国大学精神神経科連合●一九八・二〇
精神科連合ニュース●No.32●全国大学精神神経科連合●一九八・二二
中間施設の討議にあたり●全国公立病院精神科医師連絡会関東プロ
ツク会議●一九六九

- 精神科連合ニュース●No.33●全国大学精神神経科連合●一九六九・三
精神科連合ニュース●No.34第8回全国総会議案号
●全国大学精神神経科連合●一九六九・四
精神科連合ニュース●No.35第8回全国総会議案号
●全国大学精神神経科連合●一九六九・六

- 精神科連合ニュース●No.36●欠●一九六九・七
精神科連合ニュース●No.37●全国精神神経科連合●一九六九・二

- 精神科連合ニュース●No.38●全国精神神経科連合●一九七〇・一
お願い「大学病院実態調査」●一九七〇・二

- 精神科連合ニュース●No.39●全国精神神経科連合●一九七〇・三
精神科連合ニュース●No.40●全国精神神経科連合●一九七〇・七

第5巻 精神科医の運動Ⅲ

解説Ⅱ岡田靖雄

- プシ共闘●No.1●精神科医全国共闘会議●一九七〇・六
声明●精神科医全国共闘会議●一九七〇・六
スローガン●一九七〇・六
プシ共闘●No.2●精神科医全国共闘会議●一九七〇・六
PSY共闘ニュース●PSY共闘関東ブロック書記団●一九七〇・六
「公費納入に関して」●一九七〇・六
精神科連合ニュース●No.40●全国精神神経科連合●一九七〇・七
れんたいⅠ●1号●精神医療活動者会議(仮称)●一九七〇・八
れんたいⅡ●2号●精神医療活動者会議●一九七〇・八
れんたいⅢ●3号●精神医療活動者会議●一九七〇・八
れんたいⅣ●5号●全国精神科看護者共闘会議●一九七・二
精医研ニュース●全国精神医療研究会●一九七・二

- 精神衛生法撤廃連ニュース●第5号●精神衛生法撤廃全国連絡会議
●一九八七・八
阻止共闘ニュース●第2号●「処遇困難者専門病棟 新設阻止共闘会議
●二〇六・四
阻止共闘ニュース●第3号●「処遇困難者専門病棟 新設阻止共闘会議
●二〇六・六
阻止共闘ニュース●第5号●「処遇困難者専門病棟 新設阻止共闘会議
●二〇六・二

- 沖縄の精神衛生実態調査報告書1966年
●琉球政府厚生局公衆衛生部予防課編●一九六九・八
琉球諸島における精神病患者の処遇の現況について
●佐藤幹正/前田実光●一九六・三
沖縄精神医療「創刊号」●沖縄精神医療編集委員会●一九七・三
沖縄精神医療●第3号●沖縄精神医療編集委員会●一九七八・一



『沖縄精神医療』創刊号
(1977・第2巻所収)

第3巻 精神科医の運動Ⅰ

解説Ⅱ岡田靖雄 野田正彰

- 「全国大学病院精神神経科医局連合で一般方針の提案」
●(東大弘田)●一九六四・五
決議文案●全国大学病院精神神経科連合●一九六四・五
報告Ⅰ●一九六四・五
事務局(仮)ニュースⅡ●全国大学精神神経科連合●一九六四・五
全国精神々経科連合会則(案)●全国大学精神神経科連合
●一九六四・五
報告ならびに方針案 要旨／全国大学精神々経科連合会
則(案)●全国大学精神神経科連合●一九六四・五
報告並びに方針案(レジュメ)●全国大学精神々経科連合(仮称 事務局
●一九六四・五
全国大学精神神経科連合ニュース(仮)●No.3
●全国大学精神神経科連合事務局●一九六四・五



『自動車運転免許と精神病診断書』医局
連合ニュース特別号(1967・第3巻所収)

- 佐野脳破壊手術を告発する●東大精神科医師連合●一九七三・九
PSY共闘書記局ニュース●No.1●精神科医全国共闘会議書記局
●一九七三・二〇
PSY共闘書記局ニュース●No.2●精神科医全国共闘会議書記局
●一九七三・二

- PSY共闘書記局ニュース●No.4●精神科医全国共闘会議書記局
●一九七四・一
PSY共闘書記局ニュース●No.5●精神科医全国共闘会議書記局
●一九七四・三

- 岩倉病院のK氏不当入院を告発する!●精神医療研究会
●一九七四・二

- 「評議会通信」に反論する●京大精神医療研究会●一九七四・二

- 「K氏入院事件の告発」●岩倉病院●一九七五・九
PSY共闘ニュース●No.2●精神科医全国共闘会議●一九七五・二

- PSY共闘ニュース●No.3●精神科医全国共闘会議●一九七五・三
家族会運動の強化に向けて●全国精神医療研究会連合●一九七五・五

- 精神医学的診断方法について●精神科神経科医師会連合●一九七五・五
「K氏の入院問題の核心と総括」●岩倉病院●一九七六・四

- 全国精医研ニュース●第2号●全国精神医療研究会連合●一九七六・三
矢谷医師のK氏強制入院を再度批判する
●全国精神医療研究会連合●一九七六・三

- 全国精医研ニュース●第3号●全国精神医療研究会連合●一九七六・三
全国精医研ニュース●第4号●全国精神医療研究会連合●一九七六・五

- 全国精医研ニュース●第5号●全国精神医療研究会連合●一九七六・六
救済ニュース●No.3●プシ共闘によるM君権力売り渡しを糾弾しM君を支
援し裁判闘争に勝利する会●一九七六・六

- PSY共闘による岩倉不当入院問題の隠蔽と学会ひきま
わしを批判する!●全国精神医療研究会連合●一九七七・三

- 「精医研運動」の解体と東大法学の戦いの発展にむけて
●東大「百年祭」糾弾全医学部実行委員会●一九七七・二

- 連合ニュース●No.3●全国大学精神神経科連合(仮称)●一九六四・五
連合ニュース●No.4●全国大学精神神経科連合(仮称)●一九六四・六
要望書●全国大学精神神経科連合全国代表者会議●一九六四・七

- 連合ニュース●No.5●全国大学精神神経科連合(仮称)●一九六四・八
連合ニュース●No.6●全国大学精神神経科連合●一九六四・八
「運動牽引のお願い」●関東地区大学精神神経科連合代表者会議
●一九六四・九

- 連合ニュース●No.7●全国大学精神神経科連合●一九六四・一〇
8団体統一行動を協議●医局連合事務局●一九六四・一〇

- 連合ニュース●No.8●全国大学精神神経科連合●一九六四・二
連合ニュース●No.9●全国大学精神神経科連合●一九六五・二

- 連合ニュース●No.10●全国大学精神神経科連合●一九六五・四
医局連合ニュース●No.11●全国大学精神神経科医局連合●一九六五・七

- 医局連合ニュース●No.12●全国大学精神神経科医局連合●一九六五・一〇
医局連合ニュース●No.13●全国大学精神神経科医局連合●一九六六・三

- 医局連合ニュース●No.14●全国大学精神神経科医局連合●一九六六・三
医局実態調査報告●第1報●全国大学精神神経科医局連合●一九六六・四

- 医局連合ニュース●No.15●全国大学精神神経科医局連合●一九六六・五
医局連合ニュース●No.16●全国大学精神神経科医局連合●一九六六・五

- 医局連合ニュース●No.17●全国大学精神神経科医局連合●一九六六・六
医局連合ニュース●No.18●全国大学精神神経科医局連合●一九六六・九

- 医局連合ニュース●No.19●全国大学精神神経科医局連合●一九六六・二
医局連合ニュース●No.20●全国大学精神神経科医局連合●一九六七・一

- 医局連合ニュース●No.21●全国大学精神神経科医局連合●一九六七・三
医局連合ニュース●No.22●全国大学精神神経科医局連合●一九六七・三

- 医局連合ニュース●No.23●全国大学精神神経科医局連合●一九六七・五
医局連合ニュース●No.24●全国大学精神神経科医局連合●一九六七・六

- 医局連合ニュース●特別号 自動車運転免許と精神病診断書
●全国大学精神神経科医局●一九六七・七

- 医局連合ニュース●No.25●全国大学精神神経科医局●一九六七・七
医局連合ニュース●No.26●全国大学精神神経科医局●一九六七・二

- 医局連合ニュース●No.27●全国大学精神神経科医局●一九六八・二
医局連合ニュース●No.28●全国大学精神神経科連合●一九六八・三

第4巻 精神科医の運動Ⅱ

解説Ⅱ岡田靖雄

- 医局連合ニュース●No.29●全国大学精神神経科連合●一九六八・五
「精神神経科連合加入の勧め(個人向け)」
●全国大学病院精神神経科連合●一九六八・五
診療協力謝金アンケート中間報告●精神神経科医局連合事務局
●一九六八・六

第6巻 家族会

解説Ⅱ岡田靖雄

- やしお●第1号●栃木県精神障害者援護会●一九六三・二
やしお●第2号●栃木県精神障害者援護会●一九六四・四
あかね●創刊号●昭和医大附属鳥山病院あかね家族会●一九六四・八
連合会だより●No.2●全国精神障害者家族連合会●一九六五・七
全国精神障害者家族連合会結成大会●一九六五・九
●全国精神障害者家族連合会結成大会●一九六五・九
連合会だより●No.3●全国精神障害者家族連合会●一九六六・二
連合会だより●No.4●全国精神障害者家族連合会●一九六六・二〇
偕老同穴記●小西六次 多津●一九六六

- 連合会だより●No.5●全国精神障害者家族連合会●一九六七・八
都連ニュース●No.1●東京都精神障害者家族連合会●一九六七・二

- 都連ニュース●No.2●東京都精神障害者家族連合会創立準備会●一九六八・二
都連ニュース●No.3●東京都精神障害者家族連合会●一九六八・三

- あかね●あかね会創立20周年記念号●昭和大学附属鳥山病院患者家族会
●一九八三・二

- 家族会活動の歩み 東京つくし会の30年(二〇二・三



『連合会だより』No.3 全国精神障害者
家族連合会(1966・第6巻所収)

第7巻 大学闘争／「金沢学会」／市民運動

解説Ⅱ岡田靖雄 富田三樹生/山下剛利

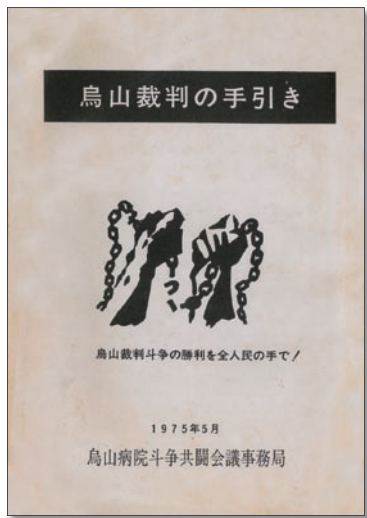
- 教室内規および内規施行細則●東京大学医学部精神医学教室
●一九六〇・五
「新医局長あいさつ」●東京大学医学部附属病院精神神経科医局
●一九六七・五

赤煉瓦だより 第1号 東大医学部附属病院精神神経科医局 一九六七・七
赤煉瓦だより 第2号 東大病院精神神経科医局 一九六七・二二
赤煉瓦だより 第3号 東大病院精神神経科医局 一九六八・五
医学部学生の皆さんに訴える 精神神経科医局懇談会/医学部卒業生有志会 一九六八・八
医学部教授総会全員の辞表提出を要求する 精神神経科医局会議 一九六八・一〇
医局解散について 東大精神神経科医局 一九六八・二〇
東大病院精神神経科医局解散宣言 東大病院精神神経科最終医局会議 一九六八・一〇
設立宣言 東京大学精神神経科医師連合設立委員会 一九六八・二〇
不信任決議 東京大学精神神経科医師連合総会 一九六八・二一
東大精神神経科医師連合 ニュース No.1 一九六八・二二
精神科医師連合 ニュース 第2号 一九六八・二二
精神科医師連合 ニュース 第3号 一九六八・二二
東大精神神経科医師連合 ニュース 第4号 一九六八・二二
東大精神神経科医師連合 ニュース 第5号 一九六九・一
連合による「いわゆる教室人事公選について」織壁永次 風祭元
神保良也・斎藤陽一・高橋康郎・中村陸郎・本多裕・町山幸輝 一九六九・七
【教室人事の今後の進め方】 一九六九・八
東大精神神経科医師連合の「高橋良氏追放」宣言を弾劾する 東大精神医学教室会議 一九六九・九
暴力行為弾劾声明 織壁・風祭・斎藤・神保・高橋・中村・陸・本多・町山 一九六九・九
東大精神神経科医師連合の一部の諸君による精神科病棟の占拠に抗議する。／ほか 東大精神医学教室 一九六九・九
精神科病室実習の妨害に抗議する。 東大病院精神神経科・東大医学部医学科四年生・第三・第四実習グループ全員 一九六九・九
精神科病室実習の妨害に抗議する 精神医学教室(講師・助手・医学科四年生実習グループ・第五・第六グループ) 一九六九・一〇
声明 東大精神神経科助手 一九六九・一〇
抗議声明 医学部四年生・第八グループ・東大病院精神神経科 一九六九・一〇
暴力行為弾劾声明 東大病院精神神経科 一九六九・一〇
東大精神医学教室 ニュース 第1号 一九六九・二一
精神科病室実習の妨害に抗議する M四第九・十グループ・東大病院精神神経科 一九六九・二二
精神科医師連合の病棟私物化と授業妨害に抗議する！ 東大医学部医学科四年生精神科実習グループ(第11・12グループ全員・東大病院精神神経科担当教官) 一九六九・二二
「病棟自主管理」と称する精神科病棟の暴力的占拠の実態 東大医学部医学科精神科実習13、14グループ(全員・東大病院精神神経科実習担当教官) 一九六九・二二

8巻 宇都宮病院事件など

解説 岡田靖雄

精神病院における労使紛争の処理について 労働省労政局 一九六〇・三
院内勤務交代に伴う紛争について 烏山病院あかね幹事会 一九七〇・八
院内の紛争解決のために 烏山病院患者家族会 一九七〇・八
独断専行を続ける松島昭医師に強く反省を求め、これを支援する若手医師の誤れる行動を批判する 昭和大学付属烏山病院 一九七〇・八
烏山病院の紛争問題について 昭和大学付属烏山病院患者家族会(あかね会) 一九七二・一
烏山病院闘争 烏山病院闘争共闘会議 一九七二・九
烏山裁判 ニュース No.1 烏山病院闘争共闘会議 一九七二・九
烏山裁判 ニュース No.2 烏山病院闘争共闘会議 一九七二・二
烏山裁判 ニュース No.3 烏山病院闘争共闘会議 一九七三・一
烏山裁判 ニュース No.4 烏山病院闘争共闘会議 一九七三・三
烏山裁判 ニュース No.5 烏山病院闘争共闘会議 一九七三・四
烏山裁判 ニュース No.6 烏山病院闘争共闘会議 一九七三・六
烏山裁判の手引き 烏山病院闘争共闘会議事務局 一九七五・五
烏山裁判の和解について 竹村孝次 一九八〇・一
中村病院事件と精神医療を告発する！ No.1 精医研 一九七二・一〇
中村病院事件と精神医療を告発する！ 中村病院とその精神医療を告発する会(連) 一九七二・一〇
事務局 ニュース 中村病院と精神医療を告発する会 一九七三・一
中村病院と精神医療を告発する資料集 No.1 中村病院と精神医療を告発する会 一九七三・一



『烏山裁判の手引き』(1975・第8巻所収)

精神科医師連合諸氏の精神科病室私物化を重ねて糾弾する！ 東大医学部医学科精神科実習十三、十四グループ全員・東大病院精神神経科実習担当教官 一九六九・二二
東大精神医学教室 ニュース 第2号 一九六九・二二
声明文 徳大精神神経医学教室 一九六九・四
徳島大精医連 ニュース 第1号 徳島大学精神神経科医師連合 一九六九・二二
徳島大学精医連 ニュース 第1号 徳島大学医学部精神神経科医師連合情報部 一九六九・二二
徳島大学精医連 ニュース 第2号 徳島大学医学部精神神経科医師連合情報部 一九六九・二二
徳島大学精医連 ニュース 第3号 一九七〇・一
徳島大学精医連 ニュース 第4号 徳島大学医学部精神神経科医師連合情報部 一九七〇・一



第66回日本精神神経学会総会(1977)。学会が一夜にして討議場となった。『病者の記録・金沢学会』(第7巻所収)より

中村病院と精神医療を告発する臨時事務局 ニュース 九大病院無給医室 一九七三・二一
中村病院と精神医療を告発する事務局 ニュース 九大病院無給医室 一九七四・一
生田病院の紛争経過 一九七五
精神病院の合理化と治安的再編に抗して 初声荘病院労働組合・初声荘病院闘争支援共闘会議 一九七八・二
4・26十全会を糾弾する市民集会 反十全会市民連合 一九八一・四
決議文 反十全会市民連合 一九八一・四
社会労働委員会での主たる発言内容 一九八一・五
十全会准職員大量不当入院糾弾！ 反十全会市民連合 一九八一・六
第2回十全会を糾弾する市民集会基調報告 反十全会市民連合 一九八一・七
通知書 京都弁護士会人権擁護委員会 一九八二・二
十全会准職員不当入院 近畿弁護士会人権擁護委員会提訴にむけての趣意ならびに署名・協力の要請文 反十全会市民連合 一九八二・二
基調報告 前進友の会 一九八二・二
十全会准職員大量強制不当入院糾弾！ 反十全会市民連合 一九八二・二
東山に当直医として行っているA医師の話 一九八三
宇都宮病院の私的保安施設としての復活を弾劾する 宇都宮病院を告発し解体する会 一九八四
宇都宮病院糾弾！県は交渉を行なえ！ 宇都宮病院を糾弾する栃木県連絡会議 一九八五・五
これで「宇都宮病院」はなくなるか！全国集会 資料集・アッピール集 一九八七・七

9巻 ロボトミー・暴行・冤罪事件I

解説 岡田靖雄 寺澤暢雄

ワタシタ タスケテクダサイ 再審へ迫る島田事件 島田事件対策協議会/静岡赤堀さんを守る会 一九七三・七
赤堀さんは無実だ！赤堀差別裁判糾弾パンフ No.1 関東赤堀さんと共に闘う会 一九七三・六
赤堀さんは無実だ！ 仙台・赤堀さんと共に闘う会 一九七七
赤堀さんは無実だ No.1 島田事件対策協議会 一九七八・二
夏期一時金特別カンパの訴え 島田事件対策協議会 一九七八・六
赤堀さんは無実だ No.6 島田事件対策協議会 一九七八・九
赤堀さんは無実だ No.7 島田事件対策協議会 一九七八・二
赤堀さんは無実だ No.9 島田事件対策協議会 一九七八・九
赤堀さんは無実だ No.10 島田事件対策協議会 一九七八・九
赤堀さんは無実だ No.11 島田事件対策協議会 一九八〇・三

徳大精医会議 ニュース 第1号 徳島大学精神神経科医師会議情報部 一九七三・三
徳大精医会議 ニュース 第2号 徳島大学精神神経科医師会議情報部 一九七三・五・四
徳大精医会議 ニュース 第3号 徳島大学精神神経科医師会議情報部 一九七三・五
生田教授不信任決議 徳島大学医学部精神神経科医局会 一九七六・一〇
大学における「研究」批判 徳島大学精神神経科医師会議 一九七六・二
腐敗堕落した医学部教授会 徳島大学精神神経科医師会議 一九七六・二

生田論文の紹介と批判 その場かぎりの思いつきと不可解な確信 徳島大学精神神経科医師会議 一九七七・一〇
評議会通信 No.1 京大精神科評議会 一九七五・一〇
評議会通信 No.2 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.3 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.4 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.5 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.6 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.7 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.8 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.9 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.10 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.11 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.12 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.13 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.14 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.15 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.16 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.17 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.18 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.19 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.20 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.21 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.22 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.23 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.24 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.25 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.26 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.27 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.28 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.29 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.30 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.31 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.32 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.33 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.34 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.35 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.36 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.37 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.38 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.39 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.40 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.41 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.42 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.43 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.44 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.45 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.46 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.47 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.48 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.49 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.50 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.51 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.52 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.53 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.54 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.55 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.56 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.57 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.58 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.59 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.60 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.61 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.62 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.63 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.64 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.65 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.66 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.67 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.68 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.69 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.70 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.71 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.72 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.73 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.74 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.75 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.76 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.77 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.78 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.79 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.80 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.81 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.82 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.83 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.84 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.85 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.86 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.87 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.88 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.89 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.90 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.91 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.92 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.93 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.94 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.95 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.96 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.97 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.98 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.99 京大精神科評議会 一九七五・二
評議会通信 No.100 京大精神科評議会 一九七五・二



『ワタシタ タスケテクダサイ 再審へ迫る島田事件』(1973・第9巻所収)

赤堀さんは無実だ No.12 島田事件対策協議会 一九八〇・五
赤堀さんは無実だ No.13 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.14 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.15 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.16 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.17 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.18 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.19 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.20 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.21 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.22 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.23 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.24 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.25 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.26 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.27 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.28 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.29 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.30 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.31 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.32 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.33 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.34 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.35 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.36 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.37 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.38 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.39 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.40 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.41 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.42 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.43 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.44 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.45 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.46 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.47 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.48 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.49 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.50 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.51 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.52 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.53 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.54 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.55 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.56 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.57 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.58 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.59 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.60 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.61 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.62 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.63 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.64 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.65 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.66 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.67 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.68 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.69 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.70 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.71 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.72 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.73 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.74 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.75 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.76 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.77 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.78 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.79 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.80 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.81 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.82 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.83 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.84 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.85 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.86 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.87 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.88 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.89 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.90 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.91 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.92 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.93 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.94 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.95 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.96 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.97 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.98 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.99 島田事件対策協議会 一九八〇・二
赤堀さんは無実だ No.100 島田事件対策協議会 一九八〇・二

家族会の活動、患者自身の運動 —障害者の人権そして連帯

内容
見本

目次

写真とエピソードでつづる家族会活動の歩み —東京つくし会の30年—

・はじめに 高山秋雄

30年をふりかえって

- (1) 全家連結成への道 50
- (2) 東京つくし会結成10周年特集 53
- (3) 座談会・東京つくし会の20年を振り返って 59
- (4) 東京つくし会で近年取り組んできた主要な項目 66
- (5) 平成以降の特徴的な動き 71

証言、記録、エピソード

- (1) 「家族としての願い」と対厚生省陳情書 74
- (2) 「お別れの辞」故山川嘉一会長合同葬にて 80
- (3) 精神障害者家族の訴え 81
- (4) 総会前ピラ配り・署名・カンパ活動などに取り組んだ家族たち 83
- (5) 精神障害者の夜明けは東京から 84
- (6) 新聞投書への反応に見る精神障害者家族の思い 86
- (7) 東京つくし会の運動成果 89
- (8) 都精民協結成とその後の10年 90
- (9) サンクス行事のとりくみ 93
- (10) 東京つくし会創立30周年記念の集い 95

都連組織・年表30年の歩み

- ・東京つくし会の会則 98
- ・東京都障害者を守る連合会会則 102
- ・東京つくし会歴代役員名簿 105
- ・東京つくし会加盟家族会 108
- ・東京つくし会年表 109

『家族会活動のあゆみ』(2002・第6巻所収)より 目次



1965年頃の烏山病院正面玄関
『あかね』昭和大学附属烏山病院患者家族会(1983・第6巻所収)より



同学会に参集し
な感銘を与え、
と、家族会の全
することとなっ
なことに、この
石川正雄氏は、そ
日に入院中の病
れたのであった。
あきさんが、正
ね会の事務局長
りした家族会の
結成や都連合会
特記すべきこと

百数十名とある。家族会の数としては、
おそらく30くらいではなかったか。その
ほとんどが病院家族会で、地域家族会
はごくわずかであったようだ。東京地域
でも、松沢、烏山、国立武蔵、梅ヶ丘、吉
祥寺といった病院の家族会が参加し、地
域の家族会は、その後誕生してきたもの
だった。平成4年6月現在では、全国の家
族会数1192、そのうち病院家族会275、
地域家族会917、また会員数は10万名を
超えるという。発足の頃の会員数は、お
そらく3000~5000名ほどであったろう。
昭和40年当時の家族会のおかれた立場
を、烏山病院の「PR室の報告」からみる
ことができる。たとえば東北地方からの
一入院者の例でいえば、家族は面会にこ
ないし、郵便物も隣町から名前を変えて
出すなど、町全体の偏見が強い、そ
うせざるを得ない状態が長く続いていた
のであった。

精神保健ジャーナル1992年、No.17
「全家連運動余話」より
高山秋雄

全家連結成へ

家族が自らの力で立ち上がり、横に広
く連帯の輪を広げていった当然の帰結と
して、全国の家族会が一つに結び付くこ
とができた。全家連結成である。
昭和40年9月4日、にわかに組織づく
りをして、新宿の安田生命ホールに全国
から家族が結集した。当日の参加者は五

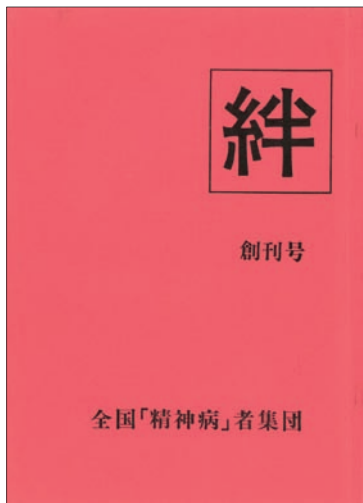
なならない
(通開朝日一九六四・五二二号)
精神衛生法改正案
谷川 俊太郎
金を惜しんで
法を惜しまず
牢獄を造って
病院を造らず
結果を怖れて
原因を怖れず
大臣を守って
病院を守らず
他人をうたぐって
自分をうたぐらず
人を惜しんで
病院を惜しまず

収録資料一覧

第10巻 患者会運動

解説Ⅱ岡田靖雄 江端一起

- 絆 創刊号 全国「精神障害者」者集団事務局編集部 一九七七・一〇
- 絆 第2号 全国「精神障害者」者集団事務局編集部 一九七九・六
- 絆 第3号 全国「精神障害者」者集団事務局編集部 一九八〇・一
- 11・13 第二回「精神障害者」全国総決起集会
●全国「精神障害者」者集団 一九七七・二
- 全国「精神障害者」者集団 ニュース 連絡会議報告 一九七九・五
- 全国「精神障害者」者集団 ニュース 一九七九・二
- 全国「精神障害者」者集団 ニュース 全国「精神障害者」者集団 一九八〇・二
- 友の会だより 第2号 外勤会 一九八〇・一
- 友の会だより 第2号 外勤会 一九八〇・二
- 友の会だより 第3号 外勤会 一九八〇・三
- 友の会だより 第4号 友の会 一九八〇・五
- 友の会だより 第5号 友の会 一九八〇・七
- ごかい通信 No.1 〃ごかい通信 編集委員会 一九八〇・九
- ごかい通信 No.2 〃ごかい通信 編集委員会 一九八〇・一〇
- ごかい通信 No.3 〃ごかい通信 編集委員会 一九八〇・二
- ひとりぐらしのうた1 〃藤枝友の会 一九八二・一〇
- 友の会通信 No.1 〃前進友の会やすらぎの里 一九九〇・五
- 友の会通信 No.2 〃前進友の会やすらぎの里 一九九〇・六
- 友の会通信 No.3 〃前進友の会やすらぎの里 一九九〇・七
- 友の会通信 No.4 〃前進友の会やすらぎの里 一九九〇・九
- 友の会通信 No.5 〃前進友の会やすらぎの里 一九九〇・二



『絆』創刊号 全国「精神障害者」者集団
(1977・第10巻所収)

- 大精連 ニュース 創刊号 大阪精神障害者連絡会 一九九二・二
- 大精連 ニュース 準備号 No.2 大阪精神障害者連絡会 一九九二・三
- 大精連 ニュース 発刊準備号 No.3 大阪精神障害者連絡会 一九九二・六
- 大精連 ニュース 発刊準備号 No.4 大阪精神障害者連絡会 一九九二・七
- 大精連 ニュース 準備号 No.5 大阪精神障害者連絡会 一九九二・九
- 高見さんを支える会 ニュース 創刊号 高見さんを支える会 一九九二・二
- 高見さんを支える会 ニュース No.2 高見さんを支える会 一九九三・三
- 高見さんを支える会 ニュース No.3 高見さんを支える会 一九九三・四
- 高見さんを支える会 ニュース No.4 高見さんを支える会 一九九三・六
- 高見さんを支える会 ニュース No.5 高見さんを支える会 一九九三・七
- ほつと 創刊号 〃(仮題) 編集部 一九九四・九
- ほつと 第2号 〃(仮題) 編集部 一九九四・一〇
- ほつと 第3号 〃(仮題) 編集部 一九九四・二
- ほつと 第4号 〃(仮題) 編集部 一九九四・三
- ほつと 第5号 〃(仮題) 編集部 一九九四・五
- SSKS ほつと (別冊よかけ) 〃(仮題) 編集部 一九九六・六
- ひようせいれん ニュース 創刊号 兵庫県精神障害者連絡会 一九九六・六
- ひようせいれん ニュース 第2号 兵庫県精神障害者連絡会 一九九六・九
- ひようせいれん ニュース 第3号 兵庫県精神障害者連絡会 一九九六・二
- ひようせいれん ニュース 第4号 兵庫県精神障害者連絡会 一九九七・一
- ひようせいれん ニュース 第5号 兵庫県精神障害者連絡会 一九九七・三
- SKU しんまつ No.24 〃新松橋亭同人 二〇〇五・五

第11巻 ロボトミー・暴行・冤罪事件Ⅱ

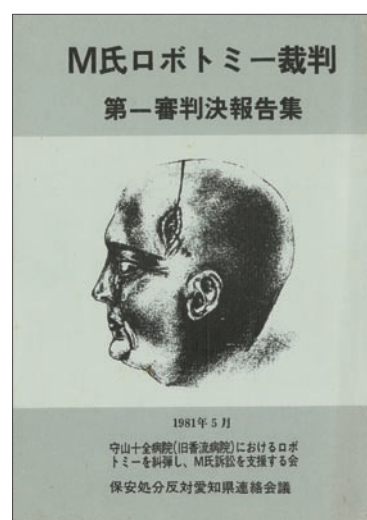
解説Ⅱ岡田靖雄

悪魔のメス ロボトミーを葬り去れ 創刊号
●ロボトミー 糾弾全国共闘会議 一九八〇・五
M氏ロボトミー裁判 第一審判決報告集
●保安処分反対愛知県連絡会議 一九八二・五

第12巻 ロボトミー・暴行・冤罪事件Ⅲ

解説Ⅱ岡田靖雄

83年2・16鈴木君虐殺糾弾闘争への呼びかけ
●鈴木君虐殺糾弾闘争実行委員会 一九八三・一
2・16大阪拘置所による鈴木君虐殺糾弾7ヶ年総決起集
●鈴木君虐殺糾弾闘争実行委員会 一九八三・二
二・一六鈴木君虐殺糾弾八ヶ年闘争招請状
●鈴木君虐殺糾弾闘争実行委員会 一九八四・二



『M氏ロボトミー裁判 第一審判決報告集』
(1981・第11巻所収)

- 二・一六鈴木君虐殺糾弾九ヶ年闘争への呼びかけ
●鈴木君虐殺糾弾闘争実行委員会 一九八五
- 〃狂人〃解放への叫び 鈴木君虐殺糾弾闘争実行委員会 一九八七・二
- 青山正さん救援会 ニュース 第16号 青山正さん救援会 一九八八・九
- 青山正さん救援会 ニュース 第17号 青山正さん救援会 一九八八・二〇・二六
- 青山正さん救援会 ニュース 第19号 青山正さん救援会 一九八八・二・二六
- 青山正さん救援会 ニュース 第20号 青山正さん救援会 一九八八・六
- 青山正さん救援会 ニュース 第23号 青山正さん救援会 一九八八・二
- 殺したんじやねえもの No.37 青山正さんを救援する関西市民の会 一九九〇・一〇
- 殺したんじやねえもの No.78 青山正さんを救援する関西市民の会 一九九四・二
- 殺したんじやねえもの No.79 青山正さんを救援する関西市民の会 一九九四・三
- 殺したんじやねえもの No.80 青山正さんを救援する関西市民の会 一九九四・四
- Wave 第1号 水戸事件のたたかいを支える会 全国事務局 一九九七・二〇
- Wave 第2号 水戸事件のたたかいを支える会 全国事務局 一九九八・一
- Wave 第6号 水戸事件のたたかいを支える会 全国事務局 一九九八・二〇
- Wave 第7号 水戸事件のたたかいを支える会 全国事務局 一九九八・二一
- 「絶対許さねえってば」水戸事件資料集1 水戸事件のたたかいを支える会 全国事務局 一九九七・二